八月廿二日夕刊

常磐毎日新聞

定價 一部金貳錢 一ヶ月金[illegible] 郵税五厘
廣告料 五號十二字詰一行金五拾錢
日曜祭日[illegible]休刊
發行兼編輯人印刷人 [illegible]
發行所 常磐毎日新聞社 [illegible]
印刷所 [illegible]

子供と讀書（2）

黑瀬艶子

また幼ない頃は、よく物の影におびえるもので、たとへば停電の夜にローソクをつけるとその位置によつて物の影が大入道のやうに映じたり又急に小さくなつたりします。成人又は子供でも相當の年齢になるとなか〳〵面白いこの影が、幼兒にはたまらなく怖ろしいもののやうです。このためにひどく神經過敏になつて取かへしのつかぬ結果になつた例もありますので、繪本についても我が子がやゝ神經質の傾向があると思つたらこの點にも注意してほしいものです。

扨、幼ない頃は自分でまだよめませんから、成人によんでもらうことに無上のよろこびを感ずる、しかも直觀がするどいので一度繪本を見ながらよんできかせてもらふと、字はよめなくてもその頁にかいてあるお話又は繪のことが案外早く覺えられます。それならば一度よんできかせたらそれで滿足するかといへばこれはどなたも御經驗のやうに幾度でも同じところをよんでくれとせがみます。丁度ねるまへに桃太郎その他のお話を毎晩きかせてもらうことをよろこぶのと同樣であります。時にはまことに不熱心らしくまるで他所を見てゐるので讀む方で腹を立てゝ「きいてもゐないものを」とやめてしまふと子供は驚いて「よんで頂だい」といふ。これは腹をたてる方が無理なので幼ない頃はよんでもらつてゐる中にその内容の如何よりも、その耳にひゞく聲の旋律に云ひしれぬ喜びを感じ、その心を想像の世界をかけめぐつてゐるのですからやめられると悲しい表情をします。またあんまり同じことばかりだからと思つて氣をきかして少し内容をかへてきかせると「それでは違ふ、昨日のやうによんで頂だい」と申します。よく覺えてゐると感心もし、同じことを幾度もきいて何がおもしろいのか、わかつてゐるなら「よんでくれ」といはなくてもよいぢやないかと思ふのはそれは成人の理屈で、子供は幾度でも同じ繪を見、同じお話をきいてゐる間にその折々に自らえがき出す想像の世界がちがふので、如何なる想像をえがいてゐるかは、書くことも言ひあらはすこともまだ不得手な彼等の時代には發表のよすがもないのですけれども、たしかにかうした世界は子供達には全くたのしい住處で、根氣よくよんでくれる母を、姉をもつてゐる幼兒は幸福ですし、また昨日も今日も同じ讀本を「よんでくれ」とせがむ幼兒をもつ母親は我が子が想像の世界をゆたかに生きて行くだけの落ついた、また精神發達の上にたのもしい兆をもつてゐることをひそかにほゝえむ筈でおります。幼兒のある時期には正常の子供は想像全盛の時代を經過しますし、躁性のない、觀念内容のこの年齢相當に豐かな子供でしたら「よんで頂だい」とせがむのは當然で、「うるさい」とか「また同じこと」をとかと片附けたくはありません。ばか〳〵しいといふ心を消して、數分間幼兒の心になつてお相手をしてやりたいものだと思ひます。

……　……

◎明日の献立◎

【朝】味噌汁―なす　小皿やきのり
【晝】ポークカツレツ　付合せ玉菜せん切り
【晩】燒物―鹽鮭　煎り煮　蓮根　こんにやく

御位牌と
佛壇佛具
品よい―― 安い――
平・新川町
橋本屋
電一六三

佛檀佛器具各種賣出し
舊盆！ 年に一度の……
佛の供養に何人樣も御準備を！
佛檀、位牌、佛膳、佛椀、經机、高月、茶椀臺
木魚、木柾、經本、球歛、過去帳、輪及臺
線香立、花立、常花、ローソク立、香爐、佛器
新盆の御家庭へ贈つて喜ばれる佛器具を御勸め致します
丸ほん商店
平三丁目・電話三五九番

吉田眼科醫院
平紺屋町 電話六八番
醫學士 吉田久雄

お盆提灯大賣出し
……一見涼風……
……湧くが如き優秀品……
特製 新型行燈
變り型は數百種御座います。何卒御一覧下さい。
平二丁目
フクダヤ

お新盆提灯に御注意!!!
近年各地に於て再製提灯が市場へ出る爲め お贈りの方も頂いた方も誠に御迷惑さ又失禮にもなりますので製造者の間で相談の上今年の品物へは必ず 昭和十一年製青色マークを入れてあります。御買求めの際は必ず忘れなく昭和十一年製マーク入と御指命下さい。
昭和十一年八月
提灯同業組合

御新盆提灯
●御戒名提灯
……特製スソ模様入レモ出來マス……
●岐阜提灯・變形提灯
……各種取揃へました……
是非御用命は！格價低廉の
スガノヤ提灯店へ
平四 電話四九五番

御中元 仕着せ 用品の大賣出し
全店清新たる夏の商品豐富絶好の特價品!!
八月十七日ヨリ……七日間
◇獨特のおつとめ品
結城縞 金七十錢
越後上布 金七十八錢
ジョゼツト小紋 金一圓五十錢
音曲歌集本染中形 金一圓五十錢
絹麻小紋 金三圓
夏セル 金二圓八十錢
最新柄パラマント友仙一反モノ 金七十八錢
着尺モスリン 金二圓五十錢
東京中形 金九十五錢
銘仙男女向 金二圓五十錢
□盆踊用に文化手拭と粋な半天發賣
いま流行の日本一手拭と粋な踊り半天を陳列致して御座居ますす是非御覽の上御用令下さい
□雜貨洋品大廉賣
あらゆる雜貨洋品、タオル箱入、敷布箱入、など贈答品に適當な御値段の品が豐富に取揃へて御座います
□京呉服赤札附特賣
高級な西陣製品を思ひ切つた赤札、是非御覽の上御用命下さい
御贈答に これが一番重寶な 商品券
平町
三井呉服店
電話一三八番 二八四番

嶮難の御濟所峠改修工事に着工

……昨廿一日鍬入を執行 郡下振興會事業のトップ

湯本石川線御齋所峠改修工事は昨廿一日郡下に於ける東北振興會關係事業のトップを切つて人夫三十名を使用、鍬入を行ひ着工したが同所は郡下は勿論縣下に於ける最大の難所として知られた個所で總工費三萬圓を以つて石住村字齋鉢地内延長千米に亘つて施行されるもので大体明三月卅一日に竣功の豫定であるが完成後は從來の交通不便を一掃することになるので期待されてゐる

繭の購入資金 四倉市場借入

既報來る廿九日より開市する四倉市場は豫てより産業組合中央金庫に繭の購入資金の借り入れについて申請中であつたが二十一日付で六萬六千七百圓を融通する旨指令があつた、尚植田市場には二萬七千圓が融通されると

全國的米價高で十三圓臺を突破

新米出廻前の高値か 廿一日の平農倉共販

既報平農業倉庫の共同販賣は昨廿一日午後から行はれ出荷數九百十九俵に達したが全國的米價騰貴から建値相場は遂に十三圓臺を突破最高十三圓五錢安値十二圓七十錢前回より平均十五錢高値で落札したがこの米價高調も新米出廻期迄の一時的ものと見られてゐる

工業組合認可申請

江名町で提出

發展途上にある石城郡江名町から二つの工業組合設立發起届が廿一日縣に提出された、その一は同町中之作吉田貞吉氏他十二名の江名燒竹輪工業組合で同町の燒竹輪年産は廿萬圓を突破してゐるが組合員が團結力を合せれば更に三四十萬圓の産額に漕ぎつけ得るとの見込みから右設立が計畫されたもので出資數は二百十五口一口卅圓で製口原料材料設備の各檢査共同販賣取引額の決定等の事業を行ふ、今一つは磐城海岸内燃機關工業組合で組合員は江名町田村鐵藏氏他四倉小名濱三町の内燃機關同部分品販賣業者廿名を以て組織するもので認可となれば製品材料の共同購入價格の協定製品の共同保管並に委託販賣等をなすもので現在の年産額卅萬を倍加する生氣込みである出資は二百五十口一口廿圓である

夏井更生祈願祭

夏井村經濟更生祈願祭は廿四日午後二時から縣から小田切經濟課長成島技師臨席擧行される

磐女の作物栽培

園藝科苦心の結晶なる

去る昭和七年來園藝科を設け三年生の課外生に各種作物を栽培實習せしめ割烹部の自給自足を圖つてゐる磐女は今年も志村教諭指導の下にトマト、馬鈴薯、茄子南瓜等を栽培此程これが收獲をしたが園藝部員が暑中休暇も取らず毎日替る〲登校手入れしたゞけに結果頗る良くいづれも見事な出來榮えをみせ職員を始め生徒一同を喜ばしてゐる

三眠病豫防對策 縣下各地に發生してゐる三眠病が最近ポツ〲石城地方にも發生して來たので平蠶業取締支所では極力左の豫防對策を奬勵してゐる

一、蠶種の催青溫度は七十五度乃至七十七度を目標とする

二、催青卵又蟻蠶の冷藏をなるべく避けること

三、稚蠶期の高溫八十度以上は極力避けること

震災記念日に平町各小學校で趣旨徹底運動

酒なしデー

平町各中等學校及び各小學校は來る九月一日の震災記念日に全國一齊に行れる酒なしデーに際し講演其他の方法でこれが趣旨の徹底を期すべく目下準備中である

鐵道職員名稱改定

全國的な鐵道の職員名稱は他の官廳のそれ比較して職名が低く卑下され勝な有樣なので鐵道省では職名改稱に付き研究中であつたが愈々出來上つたので九月一日からは常磐線各驛でも左の改稱が實施される

機關庫車掌所檢查所が保線區と同樣區に改稱され各主任が區長となり出札係が驛務係小驛に限り機關手が機關士、技術員が技術係警手が案内係踏切看手が警手小使は雜務手と改稱

湯本校同窓會

湯本小學校同窓會は廿七日午後五時から新校舍で行はれるが同校出身の比佐昌平代議士も臨席する筈

内郷校同窓會

郷内第一御厩小學校の同窓會は明二十三日午前十時から母校に開かれるが餘興に懷舊談に樂しく一日を過す筈である

郡下敎員の―圖書講習會―

郡下小學校敎員の圖書講習會は既報の如く今二十二日から平第二校に東京府立第一中敎諭で新興獨立美術協會の會頭である丸野豊氏と磐中敎諭柴田喜登氏に依り開始されたが出席者約百名あり頗る盛會である尚同講習會は三日間引續き行れる筈

坑夫募集

需要躍進で 萩原礦業部で

好間村小田炭鑛萩原鑛業部では冬期需要の躍進に準へるため目下坑夫百名の大量募集中で獨身者には合宿、家族持には社宅を無料貸與し素人でも歡迎すると云ふので相當應募者が殺倒してゐる

平町人事

回死亡

△大町[illegible]五熊谷かぢこさん（五[illegible]）

利息割戻

特典付不動産擔保貸付

開始

◎今回低利斬新ナ不動産擔保貸付ヲ創始致シマシタ

◎詳細ハ最寄本支店デ御尋ネ下サイ

◎當行ハ至ル處樞要地ニ營業店ガアリマスカラ手數ト費用ガ少ク且ツ敏速ニ御利用ガ出來マス

株式會社 常陽銀行

右ノ外

一、有價證券擔保貸付

一、商品擔保貸付

一、同倉庫證券擔保貸付

一、町村へノ貸付

一、養蠶組合（産繭）へノ貸付

一、肥料購入組合へノ貸付

一、納税組合へノ貸付

一、貯金組合へノ貸付

一、其他各種産業組合公共團体へノ貸付

一、荷付為替手形商業手形ノ割引以上簡便低利ニ御取扱致シマス

和洋家具 建具

椅子 テーブル

其他裝飾品一般……

御用命は迅速に御努め致します

諸官衙各學校 御用達

製作販賣

平町五丁目四

片寄製作店

片寄小彌太

電話四八四番

御禮

生ビール發賣以來連夜豫定の樽數を賣盡し有難う存じます。就ては御禮として毎土曜日を黑ビールデーとして御奉仕いたします。

平會館

電話六二四

峻德院儀新盆に相當り候得共時節柄提灯其他供物一切御辭退申上度甚だ乍勝手不悪御諒承願上候

昭和十一年舊七月

平町二丁目

坂田藤助

平町の七夕祭

街にぱつと咲いた 極彩 色模樣

繰擴げられた繪卷 天上のロマンスを偲ぶ 笹竹と色紙の名コンビ

七夕祭りは子供の世界である、子供心に幻想される萬人未知の宇宙を對照として行はれる祭りであつて七夕の傳說の眞僞はさておき夜空に描く美しいロマンスに陶醉するのも又樂しみなものである。舊七月七日の夜に織女星と牽牛星とが相逢ふと云ふ話は支那で誕生して日本に傳つて來たもので我が國では古來宮中の盛大な儀式を始め優しき物語を愛する文人、墨客に澤山詠まれ德川時代になつて民間で創めて五色の紙を色紙や短冊の形に切り七夕に因んだ歌を書き祭つたものが現在の一般に行はれる華やかな七夕祭となつてゐる。科學的に見た七夕祭の傳說が如何に愚かしき物語りとは云ひ復雜な現今社會の物質萬能の時代に斯うした哀れにも又美しく華やかな天上のロマンスに陶醉、童心の幻想を馳せることは好ましきことである

地方民待望の平町七夕祭は本廿二日(舊七月六日)から三日間華々しく全町各戸、商店等が數日前から練りに練つた奇想天外の構想になる自慢の傑作品を引ッさげて賑々しく街にデビュー、時ならぬ地上天國?を現出してアット瞳目、驚嘆させてゐるが同町の七夕祭は昨年平商工會等の提案で町內商店の顧客吸集策として繁華街に實現、以來町を擧げての關心を喚つた結果本場の宮城縣仙臺市の同催を凌駕する本格の七夕祭として遠近に注目されて來て居り相當優秀作品も輩出、好評を得たゝめ本年は更に平町特異の年中行事として行はれるに至り本町通り一、二三、四、五各町に加ふるに田町銀座會も結束して參加外に全町各戸を擧げてのオール競艶で此の三日間は正に平町は色紙と笹竹の名コンビが織りなす絢爛華麗の藝術に陶醉、例へ非科學的であるとは云ひ天界の神秘なロ—マンスに幻想の思ひを馳せ、奔放無碍な童心に微笑まされるのである

夢見る童心世界 躍りでた傑作品は微笑む

七夕祭り飾りで波打つ笹竹と色々の極彩色氾濫する平町は全く奇想天外の超傑作品が續出三日間のトップを切り本二十二日は各商店で秘かに製作してゐた丈けに何んな作品が飛びだすかと興味を喚つてゐたが夜明けと共に大黑屋洋品店、なかや洋服店、大谷時計店、大勝園茶舖、三井呉服店、丸ほん家具店、白菊酒店等々例年の如く馬力をかけて象虎文福茶釜の動物が飛びだすかと思ひば足が八本のタコ氏がひょッこり躍り出て子供達の人氣をさらひ他にも傑作品無數の盛觀を呈して居り尙夜は電飾と共に更に一層の美觀を添えるため雜沓する人達で平町は文字通りの不夜場を顯出してゐる

今日のラヂオ 仙台放送局 廿三日

天氣豫報 今晩は北の風曇 明日は北東の風曇

今晩の部

▼後六、〇〇 夏休み玉手箱
▼後六、二五 趣味講座 史蹟巡り「長宗我部氏の城趾岡豊と浦戸」[illegible]
▼後七、三〇 凉みばなし「京臺漫談」中村魁車
▼後八、一〇 歌謠曲 喜代三
▼後八、二五 ラヂオ小說「半七捕物帳」澤村田之助
▼後九、〇〇 時事解說「この一週間の世界の動き」太田正孝
▼後九、三〇 時報 ニュース 明日の話題 氣象通報 番組豫告

明日の部

▼前六、三〇 英語會話講座 ジョンス・バーカー
▼前七、四一 中等學校復習の時間「國史」大島延次郎
▼前八、一〇 小學生おさらひの時間「國史」寺坂長夫
▼前九、〇〇 管絃樂
▼前一〇、〇〇 日曜勤行 京都壬生寺中繼
▼前一〇、四〇 講演「毛利織田の大海戰」長沼賢海
▼前一一、一〇 謠曲「阿漕」清水八郎他
▼後〇、五〇 滿洲より講演「佳木斯移民の現狀」山崎芳雄
▼後一、二〇 漫才ヴアラエティ 1立體漫才「逝く夏を唄はうよ」吉本ショウ連 2漫才ハーモニカヴアラエティ 松平操 春風枝左松 3音曲漫才「凉み船」杵屋芳奴 松本庫吉
▼後二、二〇 吹奏樂 陸軍戸山學校軍樂隊
▼後二、五〇 舞臺劇 世話狂言の研究「曾我俠御所染」市川莚升他
▼後六、〇〇 お話「白虎隊」秋月次三
▼後七、三〇 樺太施政卅周年記念樺太の夕 1講演 永田拓相 2講演 今村樺太廳長官 3唱歌と童謠 豐原第一校兒童 4土俗歌とトングル獨奏 豐原村力太郎他 5民謠 豐原大泊連中—豐原町樺太劇場中繼
▼後八、二五 狂言「栗燒」山本東次郎 正木辰雄
▼後八、五〇 映畫劇「美人自—」ネマ連

雪崩こむ雜沓で 平署自動車統制

七夕祭の三日間は 本町から姿を消す

平署では本廿二日より廿四日迄三日間は平地方に行はれる七夕祭で雜沓するため自動車事故防止に乘り出しこれが運行統制を全管內に執行雪崩こむ七夕祭觀賞の人達の便宜を圖ることになり三日間は平町の表通りから全く自動車の姿を除かれるが全管內路線の午後六時より十時迄の運行左の如し

△湯本路線(平町尼子橋傍)△四倉同(五町目スピーデー工場前)△小川、赤井間(平揆槌小路菊地自動車々庫前)△好間同(出發點より役場前)△小名江名同(縣社前道路より運行或は新川町松崎硝子店前)

玉川に又怪盜

玉川村大字大原精米業小名山信篤方へ廿日夜忍び入り白米二俵を窃取逃走した犯人に就き平署で搜査の結果內郷村大字宮坑夫佐川直治(四三)と判明、昨二十二日朝平署で檢擧した

精神病者疾走

內郷村大字宮字蛭子八一農草野佐市郎(五九)は八月上旬より精神に異常を呈して各所を徘徊するため家人が注意中の處去る八月十九日朝行方を晦ましたので家人から平署へ搜査方願ひ出た

“百尺の高所より墜落死”

川部村大日本電氣株式會社小川發電所電工瀨尾德治(三三)君は廿日朝同發電所で作業中排水口の約百五十尺餘の高所より誤つて墜落、岩石に顏面を強打、頭部を粉碎されて無慘な即死を遂げた

裁判一束

既報正業に就き更生の道を辿つてゐるうち女故に再び惡の道に入つた時計泥の元鳥取縣米子市川崎町日本鋼管會社職工前科一犯原田利衛(二八)に係る窃盜事件の公判は今二十二日午前十時半から平區で中島判事係り清田檢事立會の下に開廷されたが檢事から懲役一年六ケ月を求刑された判決言渡しは來る二十五日午前九時

× ×

既報少年故に十數回の不起訴處分を受けながら改心もせず罪を重ね遂に起訴された性懲りのない少年豊間村箱崎幸吉(一八)に係る窃盜事件は今二十二日午前十一時から平區香西判事係り氏家檢事立會の下に開廷檢事から少年法に依り懲役二年以上四年以下を求刑されたが判決言渡しは來る二十五日午前九時

平職業紹介所報告

◇人を求める方
△出前持 十八才迄 給五圓 尋卒
△小店員 十九才迄 給十圓
△雜夫 二十才迄 給八圓
△トラック助手 廿才前後 給面談 尋卒

◇職を求める方
△寫眞見習 仕着小遣 以上
△店員 十八才 高卒
△日立機械工 十八才 高卒
△日立職工 十八才 高卒
△機械見習工 二十才 高卒

續・瓦解の延つ人々（何が瓦解したのか）

（其上映公會上映）

悟道軒圓玉（作）　丸尾至陽（畫）

二〇四　女にばける

三輪の官軍の屯所より根岸の高木伊兵衛の別荘に踏み込む兵士、これは彰義隊が潜伏いたし居ると聞いてそれを捕へる爲、伊兵衛におしづはこれを聞いておどろき、何うして土井を逃がしたものかと顔を見合せたその時土井伊織のお花は更に動ぜず

士『騒ぐことはありませんよ、ちよつとここで化けて官軍を追ひ返してやりませう』

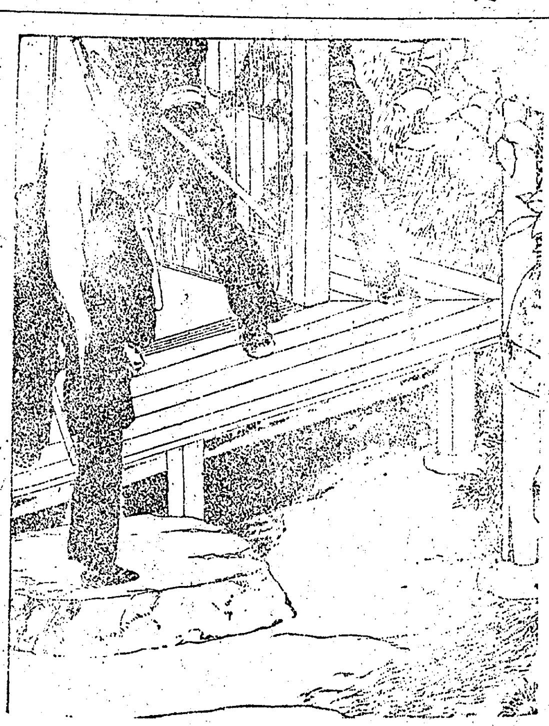
といつたが次の間に來ておしづの衣類を着て帶をしめ髪を結んで櫛と釵をさしたが忽ち女と化けた、自分の着てゐた衣類は一まとめにして押入れにしのばせ、玄關へ出て來るとドカ〳〵とそれへ踏み込んだは銃劍を持つた兵士十四五人

○『吾々は三輪の屯所から參つたものだが當家に上野からおちて參つた彰義隊が居るとのこと、早速そやつを引渡せ』

といひつゝヂッとにらみつめた、土井のお花はオホヽヽと笑つたがその顔の美しいこと

○『戯れ、貴様は何だ』

士『わたくし伊兵衛の姪でございまして、病氣養生のためにこの別荘に居りますが、誰がそんなことを訴へて出ましたか、こゝには彰義隊なぞは居りませんわ』



○『控へろ、淺草菊屋橋に居る山口良澤といふ醫者の申立てに依つて彰義隊の土井伊織の潜伏いたし居ることも知つた、また當家に居る伊兵衛の甥の與四郎と申す者も密告いたしたぞ』

士『イヤまアそれは飛んだことでございます、もつとも永いことお出入りをいたして居りましたお旗本様が二三日御逗留になり、それが病氣になつたにつきまして良澤さんを呼んだこともございます、その殿様を彰義隊と思つたことゝ存じます、また與四郎といふ者は生來の愚鈍でございまして伯父は馬鹿々々とばかり申して居ります、さういふものゝ申すことを眞實と思召してこれへ御出張になりましたはお氣の毒なことでございますね、しかし御迂論と思召すならば何うぞお調べくださいまし』

と申したが少しも擧動に訝かしき點がない、ところへ出て來た伊兵衛はお花の應待するさまを見てその豪膽に驚いたが

伊『これは御出張御苦勞様でございます、何うぞ御不審の點がございますならばお調べくださいまし、これ善助、官軍様が御出張なされてこゝに彰義隊がかくれてゐるとのこと、それは間違ひだな』

といはれて番頭の善助は與四郎を煽動して密告させ伊兵衛と土井をしばらせおしづと與四郎を夫婦にして自分がこの家の財産を横領するが目的、ところが男だと思つた土井が今女になつてゐる、これが土井でございますとこの場合ではいへず、何といつたものかとイヤ善助もびつくりしたが

善『ヘエー、彰義隊がこゝに居るといふことで皆さんが御出張になりましたか、それは飛んだ間違ひ怪しからぬことでございます、何うもあきれたものでございます』

伊『馬鹿野郎の與四郎がそんなことを訴へて出たさうだ、四五日前にこゝへ來た番町の殿様を彰義隊と思つた事であらう、馬鹿はとないの火事より怖いとはよくいつたことだ、どうぞ當家をおしらべくださいまし』

○『出張いたしたものであれば應取調べるぞ』

伊『御案内いたします』

伊兵衛が先に立ち續いてお花も伊兵衛につき添ひ官軍を案内して間毎々々をしらべさせた、官軍は床下まで吟味したが猫の子も見當らぬ

官『これは奇態だな、して見れば與四郎及び良澤の申し立ては人違ひであつたか——』

といつたが今度は庭におりてしらべる。

弊院儀今般都合により元平郵便局裏三丁目裏川岸通りに移轉仕候從前通り診療に從事仕り候間右謹告仕り候

七月二十五日

田町五番地
明雲堂眼科醫院
新妻幸之助
電六六九

暑中御伺

時節柄宣傳には……
是非！チンドンヤを
御利用下さい
委細は平町仲間町六九
丸屋春日亭米之へ

●佛檀位牌　佛具一式　是非！　近江屋へ
二丁目
電話七一一

青光院儀　新盆に相當り候得共時節柄提灯其他供物一切御辭退申上度甚だ乍勝手謹告仕候

昭和十一年舊七月

平町舊城跡
青沼鋒太郎

芳原院儀　新盆に相當り候得共時節柄提灯其他供物一切御辭退申上度甚だ乍勝手不惡御諒承願上け候

昭和十一年舊七月

平町土橋
原精一

亡父應和院儀　新盆に相當り候得共時節柄提灯其他供物一切御辭退申上度甚だ勝手乍不惡御諒承願上け候

昭和十一年舊七月

平町古鍛冶町一〇
阿康藥局
阿部康雄

父大輔儀　新盆に相當り候へ共時節柄提灯其他供物等一切御辭退申上度甚だ乍勝手不惡御願由上候

昭和十一年舊七月

平古鍛冶町
矢吹大一郎

西岸院儀　新盆に相當り候へ共時節柄提灯其他供物一切御辭退申上度甚だ乍勝手以紙上御通知申上候間惡しからず御諒承願上候

昭和十一年舊七月

平町南町七三
西丸政雄
西丸辰治